

式辞に先立ちまして、元日に発生しました、令和六年能登半島地震でお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された全ての方に、心からお見舞いを申し上げます。

## 式 辞

本日ここに、令和六年館山市成人式 ～二十歳のつどい～を挙行するにあたり、式辞を申し上げます。

本日お集まりの皆様におかれましては、輝かしい令和六年の幕開けとともに、二十歳という人生の節目を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

また、前防衛大臣 衆議院議員 浜田靖一様、千葉県議会議員 三沢智様をはじめ、ご来賓の皆様方には、公私ともにご多用の中、ご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

このよき日を無事に迎えることができますことは、これまで皆さんを慈しみ、育ててこられましたご家族の皆様をはじめ、熱心にご指導いただきました恩師や先輩、ご友人など、多くの方々の支えがあつてのことだと思えます。

本日の式典が、そうした方々へ改めて感謝する日となり、人生の軌跡として、今後の糧となることを願っております。

さて、本日の式典は、二十歳を迎えられた皆さんで構成する実行委員、九人のメンバーが中心となって、昨年十月から準備を進めていただきました。学業や仕事で忙しい中、今日までご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

実行委員会の発案により、本日の式典には「軌跡 ～ 二十年の感謝を込めて ～」というテーマが添えられております。

ここで、「感謝」という言葉から、ひとつお話をさせていただきたいと思います。

昨年まで、大リーグのエンゼルスでプレーし、日本人初のホームラン王に輝くなど、投打の「二刀流」で活躍した大谷翔平選手が、最も活躍した選手に贈られる「MVP最優秀選手」に選ばれました。

大谷選手は、「今シーズン応援してくださったファンの皆様、一緒にシーズンを戦ったチームメイト、スタッフ、球団関係者の皆さん、そして投票してくださった記者の皆様、全ての方々に感謝します」と感謝の気持ちを語っています。

大谷選手は、来シーズンからチームを移籍することになりましたが、古巣であるエンゼルスは「大谷翔平がエンゼルス

のユニフォームを着て過ごした6シーズン、彼が歴史に名を刻む瞬間を見ることができて光栄だった。彼の今後の成功を祈っている。」などとSNSで発信しました。

大谷選手の、想像を超える活躍の陰には、彼自身のゆるぎない信念や数えきれないくらいの努力があることでしょう。

そして、彼の人柄や、野球に全てを捧げるひたむきな姿勢に惹かれた多くの仲間の支えがあったものと思います。

皆さんもこの先、夢や目標に向かっていく中で、様々な場面に直面し、くじけそうになることや戸惑うことがあるかもしれません。しかし、どんなときも皆さんの周りには支えてくれる人がいます。そして何よりも助けてくれる仲間たちがいます。周りの方々への「感謝」の気持ちを忘れず、一つずつ乗り越えていってください。

そして、これからの人生の一瞬一瞬を大切にいただき、それぞれの分野で目標に向かい、力強く前進されるものと固く信じております。

冒頭でお話ししましたとおり、能登半島地震の被災地では、今この時も、多くの方々が不自由な日々を送っておられます。

五年前の「令和元年房総半島台風」を経験した皆さんは、自然災害の脅威、悲惨さ、不自由さ、悲しみを知っています。

成人になられた皆さんが、今、できることを考え、行動し

ていただきたいと思ひます。

次の世代を担う皆さんの若い力と豊かな感性に大いに  
ご期待申し上げますとともに、希望に満ちた輝かしい前途を  
祝福し、式辞といたします。

令和六年一月七日

館山市長 森 正 一